

平成 27 年 1 月 14 日



## 徳島大学病院クリニカルアナトミー教育・研究センターのご案内

徳島大学病院〔病院長：安井 夏生（やすい なつお）〕では、未固定遺体を用いた医師・歯科医師の医療技術修練や先進医療技術の研究開発に対応した「クリニカルアナトミー教育・研究センター」および当該教育・研究施設「クリニカルアナトミーラボ（CAL）」を設置しました。

## （報道概要）

徳島大学病院では、「クリニカルアナトミー教育・研究センター」およびその教育・研究実施施設として「クリニカルアナトミーラボ（CAL）」を設置しました。CALは、医師、歯科医師対象とした、ホルマリンで固定しない「未固定遺体」を用いた臨床医学の教育及び研究のための施設です。

近年、高度かつ安心・安全な医療を求める社会的要望を背景に、手術手技をはじめとする医療技術については、シミュレーターや動物等を使用して十分なトレーニングを積むことが要求されています。しかしながら、複雑な人体解剖を完全に再現したトレーニング環境を構築することは未だ困難な状況です。特に外科領域では内視鏡下手術に代表されるように低侵襲化が進むことで術野が狭く手技が高度化しているため、手術手技を習得する機会が減少しています。次世代の人材育成の観点からもトレーニング専門施設の構築は急務となっています。

このような状況を受け、海外では未固定遺体を用いた医療技術・手術手技の修練（サージカルトレーニング）が急速に普及してきていますが、わが国では医療技術・手術手技の修練や研究開発のための施設はわずかしかなく、特に未固定遺体を用いることのできる拠点は整備されておりませんでした。わが国の状況を改善するため平成 24 年度に日本外科学会・日本解剖学学会からガイドラインが公表され、手術手技研修や先進的な手技開発などの目的でご遺体を使用できるようになりました。

CALは未固定遺体によるサージカルトレーニングに対応でき、X線装置、CT、MRIを完備していることから、高度医療技術の修練や先進医療の研究開発に対応できる西日本で初めての施設となっています。

CALの設置に際しては、徳島県の多大なるサポートと、徳島大学白菊会のご理解とご協力を得て、厚生労働省と文部科学省の公認のうえ準備を進めてきました。

ご献体をいただいた方とご家族に、生前にインフォームドコンセントを得て、倫理審査委員会の承認のもと、解剖学教室の管理下にあらかじめ教育訓練を受けた医師と歯科医師が、関係法令とガイドラインを遵守し、医学・歯学教育と研究の一環として実施します。

CALを活用して、新たな医療技術トレーニングプログラムの開発や、基礎研究を推進し病態解明研究の実施拠点化など、多方面に発展できる可能性を秘めております。

この件につきまして下記のとおり会見させていただきますので、よろしくお願いいたします。

1. 日 時：平成27年1月22日（木）14時～
2. 会 場：日亜メディカルホール(西病棟11階)

このことにつきまして、報道下さるようお願いいたします。

**お問い合わせ先**

部局名 徳島大学病院

責任者 病院長 安井 夏生

担当者 総務課広報・企画部門

専門職員 小松 麻依子

電話番号 088-633-7698

メールアドレス bsoumuss7@tokushima-u.ac.jp